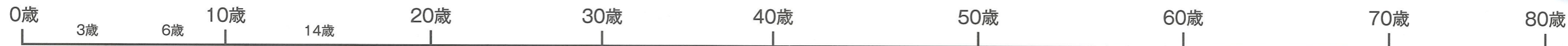


虫歯のリスクとライフステージ

いつ虫歯になるかを上手に防ぎましょう!



年齢が上がるにつれて、弱い象牙質が露出することで、再び虫歯のリスクが上がります。これまで、虫歯がなかった人も要注意!このライフステージでは、加齢やお薬(高血圧、糖尿病、脂質異常症、不眠、花粉症など)の副作用で、唾液の分泌量が減ります。お口が乾くことで、のど飴の使用が増えたり、一度に食べる量が減って、少量を頻回に摂取することで虫歯のリスクが上がります。

口腔乾燥
糖分の多い
のど飴に注意!

歯の一生を
見てみよう!



幼児〜学童期……エナメル質幼若期

この時期は仕上げみがきで、エナメル質を早く成熟させることが大切です。おやつも上手に食べましょう。時間を決めて食べることが大切です。

つめるだけではなく、虫歯の原因を知ることが大切です。

成人期……エナメル質成熟 安定期

治療がされていない歯は硬いエナメル質に守られ、虫歯になりにくい安定期に入ります。この時期も歯と歯の間は注意が必要です。

つめた歯は、よりていねいな手入れが必要です。

高齢期……歯根象牙質露出期

柔らかい象牙質の露出

再治療

再々治療

新たに増えてきた歯の根はやわらかく、溶けやすい。

歯が溶ける!? 口腔乾燥症

唾液は歯の栄養ドリンク

唾液が少ないと…

酸の中和に時間がかかり、歯からカルシウムが溶け出す。

脱灰 > 再石灰化 → 虫歯

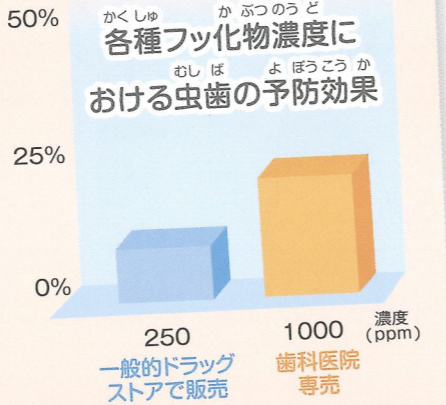
唾液が多いと…

酸を直ちに中和し、歯にカルシウムなどのミネラルを供給する。

脱灰 < 再石灰化 → 虫歯の進行停止

歯のお肌のお手入れ

食事のたびに溶けた歯はスキンケア



歯磨剤によるフッ化物の応用はエナメル質の成熟を早め、溶けにくい強い歯にします。フッ化物の濃度は1000ppmあたりが望ましい為、歯科医師に相談して選びましょう。

